

平成25年7月17日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 3件
(うち石油給湯機1件、ガスこんろ(LPGガス用)1件、
ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 3件
(うち電気床暖房器(電熱シート)1件、
太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)1件、扇風機1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 4件
(うち充電器(デジタルカメラ用)1件、
リチウムイオンポリマーバッテリー(デジタルカメラ用)1件、
電子レンジ1件、靴1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機について（管理番号A201300252）

①事故事象について

東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）が製造した石油給湯機を使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、電磁ポンプの制御弁に使用されているOリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火して当該製品が焼損したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2002年10月24日から無償改修（安定した材質のOリング（パッキン）に交換）を開始し、2006年12月4日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っています。また、販売店・サービス店を通じて、リコール対象機種がないかの確認を継続実施しており、2009年12月からの取組として、戸建住宅へチラシを直接配布し、対象製品の改修促進を図っています。

更に、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないかの確認を行っています。

社団法人日本ガス石油機器工業会では、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した事業者等6社と共同で、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています（詳細は、⑤参照。）。

③対象製品等：会社名、ブランド、機種・型式、製造期間

会社名	ブランド	機種・型式		製造期間
東陶ユプロ(株) (現TOTO(株))	TOTO	RPE32K*	RPH32K*	1995年8月 ～ 1999年6月
		RPE40K*	RPH40K*	
		RPE41K*	RPH41K*	
長州産業(株)	C I C	PDF-321V	DX-411D	
		PDF-401A	PDX-321V	
		PDF-411D-A	PDX-411D	
ネポン(株)	NEPON	URA320	UR320	1995年8月 ～ 1999年6月
		URA320S	UR320S	
		URB320	UR404S	
		URB320S		
(株)日本ボイラー メンテナンス社	日本ボイラー メンテナンス	UFA-333A（湯F O）		
高木産業(株) (現 パーパス(株))	パーパス	TP-BS320*D (但し、TP-BS320は除く。) TP-BS402*D TP-BSQ402*		

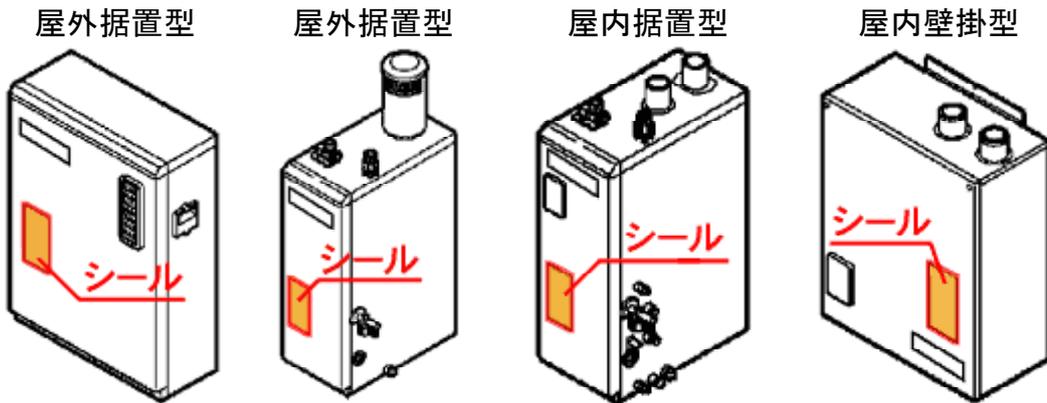
※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

2002年10月24日からリコールを実施

改修対象台数 189,944台

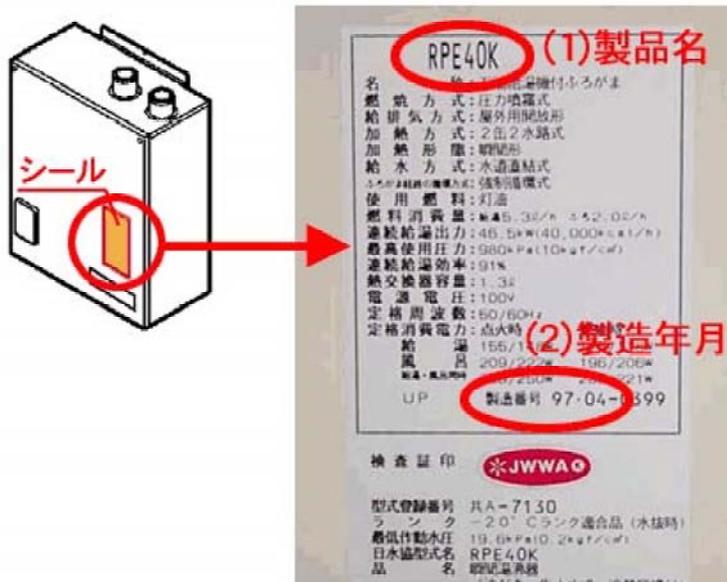
改修率 88.4% (2013年6月30日現在)

対象製品の確認方法：製品名、製造年月は器具本体前面にシールで表示されています。
排気及び設置方式により、図のような形状があります。



当該製品の見分け方

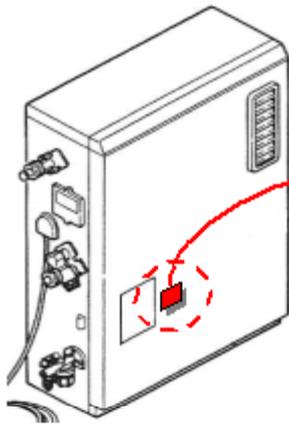
- ・製品名は、シール上部に記載されています。



- ・製造年月は、製造番号の部分に記載されています。
図の97・04のように、4桁の数字で表示されます。
該当製造年月以降の製品は、仕様が異なりますので対象外となります。

TOTO製品の場合は、製品名の先頭の6桁が上記表に掲載のものと合致し、製造年月が95・08から99・06までの製品が対象となります。

※既に点検が完了している製品には「点検済」と記載のシールが添付されています。



点検済

↑点検完了の場合はこのシールが貼付されています。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）の「TOTO」ブランドのほか、長州産業株式会社の「CIC」ブランド、ネポン株式会社の「NEPON」ブランド、株式会社日本ボイラーメンテナンス社の「日本ボイラーメンテナンス」ブランド、高木産業株式会社（現 パーパス株式会社）の「パーパス」ブランドの製品もあります。

（TOTO株式会社の問合せ先）

TOTO株式会社、長州産業株式会社ブランド、ネポン株式会社ブランド、株式会社日本ボイラーメンテナンス社ブランドの製品

電話番号：0120-444-309

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く。）

ホームページ：<http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm>

（パーパス株式会社の問合せ先）

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日・年末年始を除く。）

ホームページ：<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

⑤社団法人日本ガス石油機器工業会及び製造事業者の取組

社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について上記リコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機等を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、2008年11月から12月にかけて、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のホームページにおいて、東京ツチヤ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

対象製品等：ブランド名<会社名>、機種・型式、製造期間、問合せ先

ブランド名<会社名>	機種・型式、製造期間	問合せ先
NORITZ <株ノーリツ>	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 * 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ホームページ http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html 電話番号：0120-018-170
ハウステック <日立化成工業(株) (現株ハウステック)>	H0-350 * H0-360 * H0-450 * KZ0-460 * <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ホームページ http://www.housetec.co.jp/company/attention/2002/10/ho-350.html 電話番号：0120-551-654
TOTO <東陶ユプロ(株) (現TOTO(株))>	RPE32K * RPE40K * RPE41K * RPH32K * RPH40K * RPH41K * 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ホームページ http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309
パーパス <高木産業(株) (現パーパス(株))>	TP-BS320 * D (但し、TP-BS320は除く) TP-BS402 * D TP-BSQ402 * <TOTO(株)製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月 AX-400ZRD <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ホームページ http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html 電話番号：0120-575-399
NEPON <ネボン(株)>	URA320 URA320S URB320 URB320S UR320 UR320S UR404S <TOTO(株)製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ホームページ http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309 TOTO(株)で受付
CIC <長州産業(株)>	PDX-403D DX-403D PDF-403D DF-403D DX-403DF 製造期間：1996年5月～ 1999年10月 PDF-321V PDF-401A PDF-411D-A DX-411D PDX-321V PDX-411D <TOTO(株)製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ホームページ http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3 電話番号：0120-652-963 ホームページ http://www.toto.co.jp/News/yupro/index.htm 電話番号：0120-444-309 TOTO(株)で受付
ツチヤ <東京ツチヤ販売(株)>	AX-402A EX-403A FK-405A FC-406A <長州産業(株)製> 製造期間：1996年5月～ 1999年10月	ホームページ http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3 電話番号：0120-652-963 長州産業(株)で受付
ワカサ <株ワカサ>	WBF-400C <長州産業(株)製> 製造期間：1996年5月～ 1999年10月	

※機種・型式名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

(社団法人日本ガス石油機器工業会)
 ホームページ : <http://www.jgka.or.jp/>

該当機種 (写真の一部)

- ・本体と製品名・製造年月日は器具本体前面にシールにて表示されています。
- *形状は各社により、排気部の形状など異なります。
- *掲載写真は一部ですべてではありません。詳細はメーカーのホームページをご覧ください。



長州産業



TOTO



ノーリツ



(2) 株式会社世田谷製作所が製造し株式会社オカキンが販売したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）について（管理番号A201300255）

① 事故事象について

株式会社世田谷製作所が製造し株式会社オカキンが販売したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年4月19日からホームページによる告知（2013年3月7日再周知）とともに、使用者へのダイレクトメールの送付や電話連絡等によりこれまで継続的に注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等の交換）を実施しています。

③ 対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

会社名	機種・型式	製造期間
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-915OCFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

※ 対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品があります。

2007年4月19日からリコールを実施

改修対象台数 39,337台

改修率 72.4%（2013年3月31日現在）

対象製品の外観（写真はTA-097UET）



対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（株式会社世田谷製作所の問合せ先）

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/>

（株式会社オカキンの問合せ先）

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.okakin.com/news/0.html>

（東京ガス株式会社の問合せ先）

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

(株式会社ハーマンの問合せ先)

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

(3) 三洋電機株式会社が製造した扇風機について（管理番号A201300257）

① 事故事象について

公共施設で三洋電機株式会社が製造した扇風機から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品の対応について

同社は、当該製品を含む1977年以前に製造された同社製扇風機について、電気部品の経年劣化によって出火し、火災に至るおそれがあることから、2007年8月25日以降、毎年、新聞広告を掲載し、また、2007年9月からはテレビ広告を実施するなどして、使用の中止及び製品廃棄のお願いを呼び掛けています。

また、一般財団法人家電製品協会、一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人日本冷凍空調工業会では、経済産業省と協力して、長期間使用している家電製品に関する注意喚起のためのチラシを各自治体を通じて全国の各世帯に配布する取組を実施しています。

③ 対象製品：ブランド名、品番、販売期間

ブランド名	品番	販売期間
SANYO	EF-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ）	1956年～1977年
新日本電気	NF-XXX（3～6桁の数字とアルファベットの組み合わせ）	1961年～1977年
ゼネラル	EF-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ） F-XXX（3～5桁の数字とアルファベットの組み合わせ）	1959年～1977年
全日電商事株式会社	JF-30A	1968年
(株)全日電チェーン	JF-31A	1969年
シンガー	630、635、630D	1964年

※ SANYOブランド（三洋電機株式会社製）以外は、三洋電機株式会社が製造し各社ブランドで販売されたもの。

- ・ SANYO、新日本電気、ゼネラルの3ブランドは、次のURLより、お手元の扇風機が1977年以前の販売機種か否かがチェックできます。

http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/search.html

- ・ 新日本電気ブランドの対象製品の品番一覧

<http://www.nec.co.jp/news/info/20070824.html>

- ・ ゼネラルブランドの対象製品の品番一覧

http://www.fujitsu-general.com/jp/i_info/fan/

対象製品の外観（写真はEF-6KJ）



④消費者への注意喚起

当該製品を含む1977年以前に製造された製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止してください。

また、1978年以降に製造された製品についても、以下の症状が発生する場合は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

- ・スイッチを入れてもファンが回らない。
- ・ファンが回っても異常に回転が遅かったり不規則。
- ・回転する時に異常な音がする。
- ・モーター部分が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。

（三洋電機株式会社の問合せ先）

扇風機相談室

電話番号：0120-34-0979

（携帯電話・PHS可、一部IP電話不可）

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・事業所指定の休日を除く。）

ホームページ：http://panasonic.co.jp/sanyo/info/products_safety/080430.html

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船^{かわふね}
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(東陶ユプロ株式会社(現 TOTO株式会社)が製造した石油給湯機についての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社世田谷製作所が製造し株式会社オカキンが販売したガスふろがま用バーナー(都市ガス用)についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

(三洋電機株式会社が製造した扇風機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、角田、中谷 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300252	平成25年7月5日	平成25年7月11日	石油給湯機	RPH40KE	TOTO株式会社(製造:東陶ユプロ株式会社(解散))	火災	当該製品を使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。事故原因は、現在、調査中であるが、電磁ポンプの制御弁に使用されているリング(パッキン)が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火して当該製品が焼損したものと考えられる。	兵庫県	製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率88.4%
A201300253	平成25年6月30日	平成25年7月11日	ガスこんろ(LPガス用)	RTS-4000GF-R	リンナイ株式会社	火災	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	静岡県	
A201300255	平成25年7月3日	平成25年7月11日	ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)	TA-097UET(株式会社オカキンブランド:型式TA-097)	株式会社世田谷製作所(株式会社オカキンブランド)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	大阪府	平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率72.4% 7月5日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故 7月11日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300254	平成25年3月9日	平成25年7月11日	電気床暖房器(電熱シート)	なし	ハーシェル合同会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	石川県	事業者が事故を認識したのは、3月10日報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意 3月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300256	平成25年4月23日	平成25年7月11日	太陽電池モジュール(太陽光発電システム用)	ND-R1C1C	シャープ株式会社	火災	複数台設置された当該製品のうち1台を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	京都府	事業者が事故を認識したのは、7月2日 7月4日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300257	平成25年6月29日	平成25年7月12日	扇風機	EF-6KJ	三洋電機株式会社	火災	公共施設で当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	福岡県	製造から40年以上経過した製品 平成19年8月25日から使用中の呼び掛けを実施(特記事項を参照) 7月11日に消費者安全法の重大事故等として公表済

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300249	平成25年6月14日	平成25年7月11日	充電器(デジタルカメラ用)	火災	当該製品にリチウムイオンポリマーバッテリーを装着し、延長コードを介して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、7月1日リチウムイオンポリマーバッテリー(デジタルカメラ用)に関する事故(A201300250)と同一
A201300250	平成25年6月14日	平成25年7月11日	リチウムイオンポリマーバッテリー(デジタルカメラ用)	火災	充電器に当該製品を装着し、延長コードを介して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、7月1日充電器(デジタルカメラ用)に関する事故(A201300249)と同一
A201300251	平成25年1月16日	平成25年7月11日	電子レンジ	火災	当該製品を使用中、当該製品の庫内を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、7月1日
A201300258	平成25年5月2日	平成25年7月12日	靴	重傷1名	当該製品を履いて、砂利道の下り坂を歩行中、滑って転倒し、右足を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	群馬県	事業者が事故を認識したのは、7月4日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

太陽電池モジュール（太陽光発電システム用）（管理番号：A201300256）

